

クラウド・ディンガー + ヤバンドルフ、アルバム『ヤバンドルフ』 1998 - 2013

1998

クラウド・ディンガー、デュッセルドルフ、クンストハレでのLa!NEU?のコンサートにて、観客として来ていたマサキ・ナカオと初めて出会う。

1999

クラウド、新世紀にむけて新しいプロジェクトのコラボレーターを探し始める。ナカオを介して、カズユキ・オノウチ（カズ）と知り合う。カズは一年前に日本画を卒業後音楽を志し、多摩美術大学の教授であり美術評論家の榎木野衣氏から『音楽をするなら、デュッセルドルフへ』と勧められてデュッセルドルフへ来ていたのだった。クラウド、**グリーンランド**のPOP2000というコンピレーションに**ノイ!**と**ラ・デュッセルドルフ**の曲提供を希望するハーバート・グリュネマイヤー（独のポップシンガーソングライター）と初めて出会う。

2000

クラウドとカズ、クラウドのデュッセルドルフのリリエンタールスタジオにカズのデジタル/アナログ機材でスタジオを作り上げてゆくと同時に『**ヴィヴァ リミックス**』（後に『**ヴィヴァ リミックス2010**』と改名）のアルバム制作を始める。新バージョンとして**”チャチャ2000”**にハーバート・グリュネマイヤーと大垣美保子のボーカルを録音。様々なアーティストやミュージシャンをリリエンタールスタジオとオランダにあるクラウドのゼーランドスタジオに招いてセッションを録音する。（後にそれがアルバム『**プリ・ヤバンドルフ**』と『**ヤバンドルフ**』となる）クラウド、カズ、ヴィクトリア・ヴェアマイスター、ウメハラ・マキ、アンドレアス・ライゼ、テア・ジョルジャッジエ参加。**ノイ!**70年代のアルバム3枚の再リリースを**グリーンランド/EMI**と契約。

2001

ノイ!、**グリーンランド/EMI**より3枚のアルバムがレコード盤とCDで再リリースされる。カズ、スタジオの設備をさらにアップグレード。リリエンタールスタジオとゼーランドスタジオにて『**ヴィヴァ リミックス**』と同時に、新しいアルバム『**ヤバンドルフ**』の制作をすすめる。

2002

トーマス・ディンガー没、49歳。ゼーランドスタジオでのセッションに、神戸からやってきたサトシ・オカモトがキーボードで参加。アルバム『**ヴィヴァ リミックス**』収録曲、**"ヴィヴァ"**のオーバーダブ録音、クラウド、カズ、サトシ、ナカオ、レナーテ・ディンガーとミキ・ユイ参加。

2003

ゼーランドスタジオにて『**ヤバンドルフ**』の為の楽曲を制作。クラウド、カズ、サトシ、ナカオとミキ参加。アルバム**VIVA REMIX**の『**ゲルト**』（『**金**』）新バージョンにハーバートのヴォーカル録音。ロンドン、**グリーンランド**とミュート、そしてハンブルグ、**独ワーナーミュージック**と**シャハト**（音楽出版社）にてアルバム『**ヴィヴァ リミックス**』と『**ヤバンドルフ**』をプレゼンテーションする。**独ワーナーミュージック**社長、ドップが興味を示すが、結局どのレーベルからもリリースには至らず。

2004

ラ・デュッセルドルフの1976年から1980年までのアルバム3枚のCD版權を、7年越しの裁判を経て**独ワーナーミュージック**が勝訴。

www.la-duesseldorf.de クラウド・ディンガー オフィシャルHP開設。

2005

引き続きリリエンタールスタジオにて『**ヴィヴァ リミックス2010**』と『**ヤバンドルフ**』を制作。クラウドの経済状況の悪化に伴って、リリエンタールスタジオの半分を片付け、解約する。

2006

アルバム『モン・アムール』、(旧『ネオンディアン』1986)が独ワーナーミュージックより再発される。しかしボーナストラックに関してクラウドと独ワーナーミュージックが契約合意に達せず、独ワーナーミュージックはすぐに販売を中止する。アルバム『ヤバンドルフ』のプロモーション用ライブに備えてカズとサトシのサヴトレのスタジオ(ミントロップストラッセ/デュッセルドルフ)にてリハーサルを重ねる。

2007

アルバム『ヤバンドルフ』完成にむけて、スタジオ機材をゼーランドスタジオへ移動する。メンバー全員でアルバム『ヤバンドルフ』に収録されている楽曲の大半を録音。"インマーマンストラッセ"、"キッテルバッハ交響曲"、"ウドン"、"スペースメロ"等。アルバム『ヴィヴァリミックス2010』と『ヤバンドルフ』をミックスする。

2008

2月と3月にクラウド、カズとミキの3人だけでアルバム『ヤバンドルフ』の為にさらに"カーニバル"、"スケッチNo.1"と"スケッチNo.4"そして"チャチャ2008"を録音。クラウドは最後の曲となる"カーニバル"の歌詞を書き、ヴォーカルを録音する。

あと少しでアルバムが完成するという矢先、復活祭の金曜日の満月の日、3月21日にゼーランドにてクラウドが突然心不全で亡くなる。享年61歳。パートナーでもあるミキがクラウドの権利を受け継ぎ、カズと共に制作を続ける。カズとサトシ、サヴトレとして(onpa)))よりCDリリース、クラウドのライナーノート付き。

2009-2011

スタジオ機材を再びデュッセルドルフ、リリエントールスタジオへ移す。

2010年、カズとミキ、クラウド・ディンガー + ヤバンドルフ最後のアルバム3枚、

『プリ・ヤバンドルフ』、『ヴィヴァリミックス2010』と『ヤバンドルフ』を完成させる。

ミキ、クラウドの旧友でもあるライン・クラングスタジオのポド・シュタイガーの助けを得て、クラウドの残した16トラックテープをデジタル化する。YouTubeにクラウド・ディンガーチャンネル開設、インタビュー等のビデオアーカイブを発信する。ミキはリリエントールスタジオから引っ越し、カズは日本へ帰国する。ミキのソロアルバム『マギナ』(クラウド共同プロデュース)大阪のレーベルHoerenよりCDリリース。ノイ!ヴァイナルボックスセットがグリーンランドよりリリースされる。

2012

ミキ監修のクラウド・ディンガー展、"IHR KÖNNST MICH MAL AM ARSCH LECKEN",デュッセルドルフのスローボーイにて開催。スローボーイと共同で展覧会と同名のクラウド・ディンガー写真集を出版。ニューヨークのレコード店、アザー・ミュージックにて写真集の発表会をおこなう。

2013

クラウド・ディンガー + ヤバンドルフのアルバム『ヤバンドルフ』が、グリーンランドレコードよりリリースされる。